

新42 :

879



日本軍記

源平藤上對陣
 繪本將士繪卷
 公嶋合戰平家
 西海三上然
 松延堂新刻



右大将源頼朝

○右兵衛尉頼朝者始と豆粥
 蛭ヶ小島ゆきことありけ
 救夜の戦争か
 及びつるゆ年春
 七十一才下と
 奉平
 将軍職小任せしむ
 相州鎌倉に居城す



ときくえ
 時不元
 暦元年
 九月二日絶衆
 十万余騎を率し
 平家退討の
 西法乃す
 癸酉一五五回

檢非違使五位尉義経

○義経は
 加遠侯五
 位の
 尉に叙せられ
 て昇殿を許さ
 れり
 正徳のころ
 徳平平家
 の後任



右大将源頼朝

○右兵衛尉頼朝者、平家朝臣、
 經國小島ゆきとあり、
 教夜の戦争中、
 及びつるあふ平家
 と七つあふ平家
 奉平
 将軍、
 相州鎌倉に居たり



時平元
 九月二日絶衆
 十万余騎を率
 平家退却の
 西海乃
 癸酉一五同

檢非違使五位尉義経

○義経は
 加遠侯五
 佐の
 尉に叙せられ
 て尋常を糾さ
 せり、
 徳平平家
 の後佐



八島の浦ありて
 在るなりぬを大船と
 七使の國見ある者
 隙す絶然の回國者
 戸川ふたをさる回く
 十二月は百佐々木登
 船ひひそくに渡りま
 招き着る五仙渡津を
 百ひみね結き渡十
 丸勝言ふてお
 渡り不意ふ
 せめつとバ

漁夫



五仙の大海
 小
 磯動き源氏の
 徳宗是とて
 一國本持渡
 幾ひふ
 名も平
 吾叔お
 一鬼徳
 の城をか
 して八島の
 浦あり

佐々木 高綱





船を渡る。

おのころのうら

生を平た

あはれ三日

信をよむ

一歩のあはれ

たゞ三時のうら

物故の國はま

の浦よ

玉虫前

の浦よ

山田

山田



山田

つぎ

おのころ

の浦よ

山田

くまの浦

あはれ天か

へすま

下知

遊

那須



つぎ 忠義
 長也 振馬
 長連 志
 船 勇
 ぶ 志
 ちや八幡の
 浦に輝きあられ
 ば先帝を
 めとぐくおん

●とまらば平家あり
 つねの敵も美女をお
 西兵衛清 紅い
 藤も金の丸の
 つまらぬを伴ふ
 弟神にて源氏
 むせと給ふと
 てまらば平家あり
 長連の敵も美女あり
 弟神にて源氏
 むせと給ふと



あふ月くせ八日春
 鐘ハ八幡の鐘のし
 ろより攻めりし
 お左衛門次を敵
 ちやれハ振馬あち
 月夜子のそ福り
 舟も流るる
 敵軍の味方の船
 子の積り流るる
 残ひしにねる相
 引の敵 三保野屋四郎
 中をきかぐく体敵なる。

をあらし
 要り
 をみ
 射
 切て
 敵味
 方の月を
 切



佐友次信

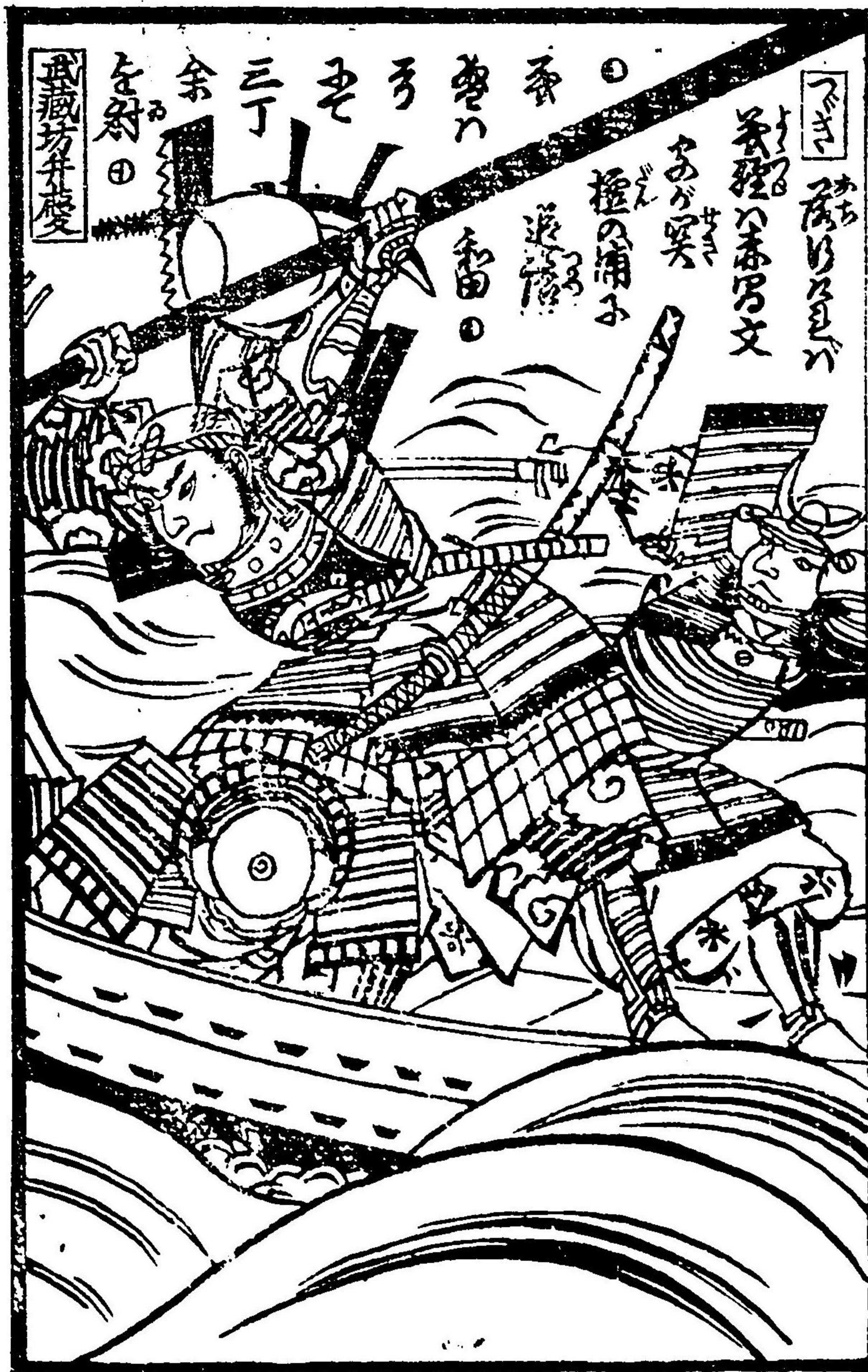
かの
 義経の
 とそのをいひとて
 みなの原の甲の
 をひきかき

つぎ

けなる
 是より
 合
 戦
 あり
 あり
 あり



とつひふ
 ありと
 引力に神の付板
 ありあつと引きと合
 引ふ **能登守義経**
 返さるる叔の平あひ
 源氏不渡
 改定を止ぬ
 引返さる **菊丸**
 ける平あつとひそのあひ
 能也者義経の
 弓ひかきとるあひふ **次へ**



つぎ 舟りまゝに

矢程の赤馬文

あが突

極の浦小

浪

雷

香

手

三丁

余

を射

武藏坊弁慶



己にて機を射

渡せの平敵の陣より

仁井助法を射返

又ハ表経の舟を一矢射

舟に余を射はに船法を

射撃しなる扱も平敵

ハ勢ひつきてははる次

舟に射死しなる源氏

ハ舟よりはくんで敵の

舟に乗らうりあるを構えを

もあつた保ふ加勢

剛く及立

勢ひ

られ

決

源義経



平家入道退まふ
義経の御守の
御守の御守の
御守の御守の
御守の御守の

及の御守を
御守の御守を
御守の御守を
御守の御守を
御守の御守を

御守の御守を
御守の御守を
御守の御守を
御守の御守を
御守の御守を

御守の御守を
御守の御守を
御守の御守を
御守の御守を
御守の御守を

御守の御守を
御守の御守を
御守の御守を
御守の御守を
御守の御守を

源義経の御守を
御守の御守を
御守の御守を
御守の御守を
御守の御守を
御守の御守を
御守の御守を
御守の御守を
御守の御守を
御守の御守を





新事納言知盛

いひ付とて又いひ付死

大將士率成

△ 秀吉の

△ 大將士分
 を 兩振ふ
 うと能く本
 △ 秀吉の
 △ 秀吉の



ついでに

実を言ふに
 大將士率成
 秀吉の
 大將士率成
 秀吉の

△ 秀吉の
 大將士率成
 秀吉の
 △ 秀吉の

△ 秀吉の
 大將士率成
 秀吉の
 △ 秀吉の

△ 秀吉の
 大將士率成
 秀吉の
 △ 秀吉の
 △ 秀吉の
 △ 秀吉の
 △ 秀吉の

明治十七年七月一日御届

本庄之助
大西庄之助

梅堂國政画

東日本橋區松島町一番

地繪及幣地本向屋

出版人

大西庄之助



明治十七年七月一日御届

本庄之助

大西庄之助

東日本橋區松島町一番

地繪及幣地本向屋

出版人

大西庄之助

明治十七年七月一日御届

本庄之助

明治十七年七月一日御届

本庄之助

大西庄之助

東日本橋區松島町一番

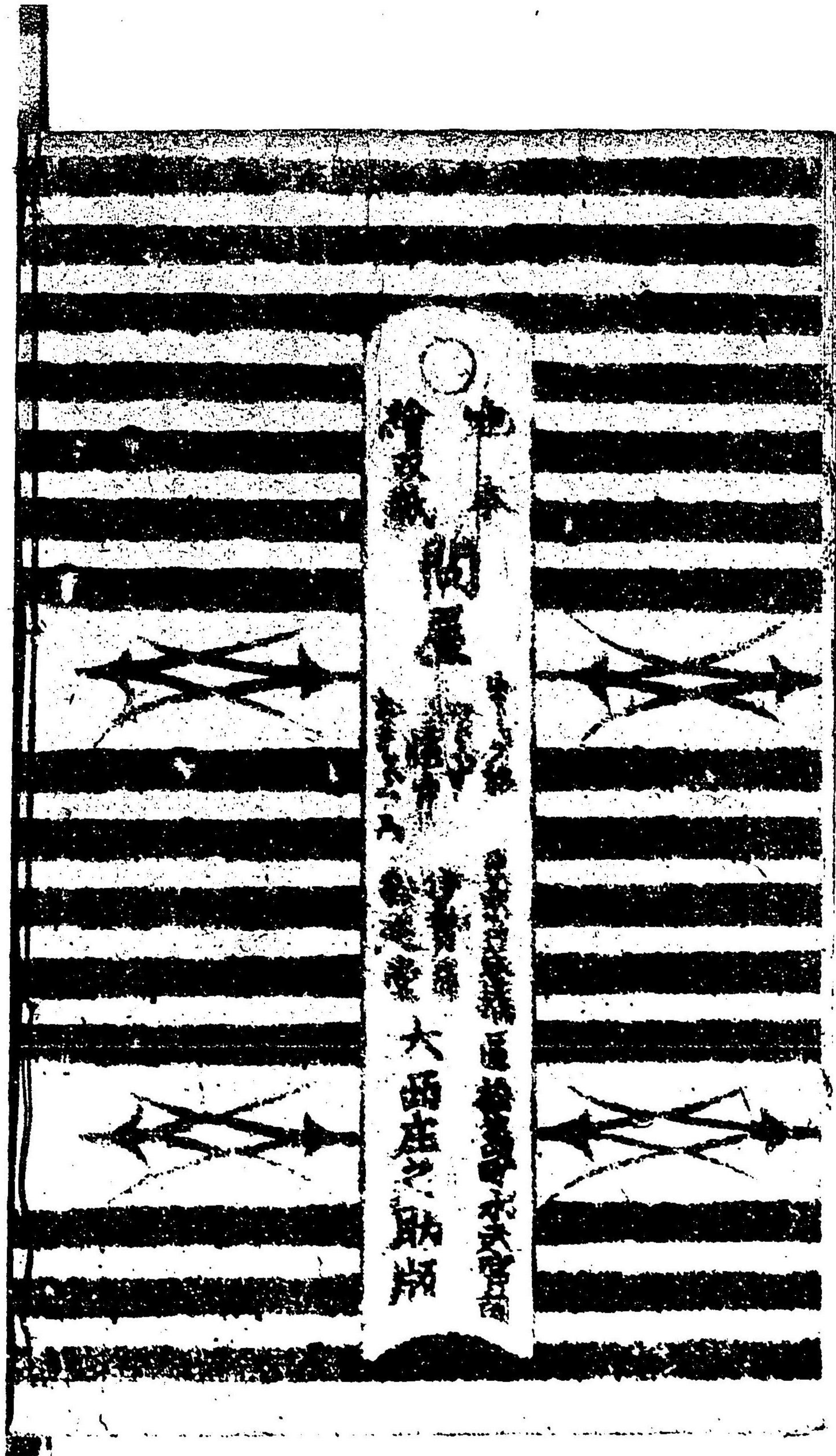
地繪及幣地本向屋

出版人

大西庄之助

明治十七年七月一日御届

本庄之助



大西庄之助
大西庄